

待つという工程。



ウイスキーが熟成することで味に深みが出るように、より高品質な発色、安定性を導くためには油絵具にも「熟成」が不可欠です。「熟成」は練りあがった絵具の空気を抜くことから始まります。そして空気を完全に追い出した絵具は、自然熟成に入り、空気を遮断した安定的な空間で一定期間寝かせ、なじませます。ホルベイン油絵具のやわらかな質感と発色には、「待つ」という工程も必要なのです。ホルベインの命は品質です。

●油絵具20号(110 ml)チューブ、全40色新登場。大きいサイズでも品質は変わりません。

ホルベイン工業株式会社 東京都豊島区東池袋2-10-4 TEL.03(2942)9211 大阪府東大阪市上小島1-9-10 TEL.06(6723)1514



**holbein**

ホルベイン絵具  
www.holbein-works.co.jp

holbein

## 小林健二

ひかりさえ眠る夜に

鷹見明彦 文 森田ケン 写真 \* 印



1979年、友人たちと借りた本駒込の共同アトリエ前で立っているのが小林。この年、はじめてグループ展を開いた。溶接工から顔線作りへと代わるころだった



(タイトルは上記コメントに同じ) 1973 紙に鉛筆、インク、醤油 27×38cm

## 1973

「彼は一番強い生物。何故ならものを悩んだり、企んだりする脳を持っていないから。彼は一番強い生物。光の力をそのまま自分の血や肉に変えているから。彼は一番弱い生物。思いっきり愛することのできる重いハートを、4本の足で支えなければならないから。」

日照の少ない異変の夏のおわりに残暑が戻ったころ、小石川にある銀河通信社の実験室では、昼夜を徹した実験と制作が続けられていた。美術館での初個展になる、ひかりさえ眠る夜に、福井市美術館を控えて、小林健二のアトリエは、フル稼働状態だった。坂道のなかほどにある目立たない建物の戸口をはいると、アンビエントなピアノの響きが漂っている。

「こんどの展覧会の会場に流そうとおもって、二十六年前に作った曲をデジタルにリソースするのにきのうも徹夜しちゃってね。天体から鉱石ラジオまで森羅万象にわたる好奇心をハンドメイドで物象化する天才は、そのファンタジックな作品から神秘的のオーラをまとってもいるが、人見知りや江戸っ子の気風、サービスピ精神と職人気質が同居する澄んだ眸の持ち主である。その来歴は、天才ならではの波瀾万丈に彩られながら、独力で芸道をめざす者なら誰もがとある道を地へ往って、聞け



1990

『ヨモツカド』とは、黄泉の国への門を意味する古えのことば。そこは、肉体をはなれた靈魂が転生していく世界の入り口」

ヨモツカド Yömötsukado 1990 木に油彩、鉛 223×225×16cm

ば後から来る者の励みにもなる。  
 「高校のころは友だちやアイドルの似顔絵を描くとよく売れてね。でも（いつかは）一見気持ち悪いから、売れ残った一枚なんだ」。  
 《彼は一番強い生物。何故ならものを悩んだり、企んだりする脳を……》（一九七三）は、鉛筆で描いたドローイングに醤油やインクで染みを付けて、古びたように見せた十六歳の作品。タイトルは、紙の裏に書きつけられた文によるが、小林の世界の一貫したテーマである地球環境と生命の問題が、食物連鎖の頂点としての人間存在の逆説性について、すでに語られている。



PSYRADIOX FOR TATSUHIKO SHIBUSAWA 1987  
 木、蛍石、合成樹脂、ブラックライト、硝子、電子部品 28.5×22.0×17cm



## 2003 「光に生まれ 光にかえっていく 永きまどいの道のり 永きさまよりの歴史 人よ 疑問をもてし現象よ……」( ひかりの夢 をもとにつくられた「UTENA」より)

「ON A NIGHT WHEN EVEN LIGHT HERSELF SLEPT-ひかりさえ眠る夜に」展(9月20日 11月3日、福井市美術館)でのインスタレーション。床にEL(エレクトロ・ルミネッセンス)による青い発光帯が伸びる。人工結晶の浮かぶ光の間をぬけると、ELの微光と静謐なピアノの音が漂う間の部屋が待っている 撮影=作家本人

少年のころから恐竜や鉱物、本が好きで、工物や絵を描くのが得意なのは変わらない。そこには冶金学の研究から戦後は半導体の開発、そして刀鍛冶となった父の影響があったのは確かだが、サッカー少年のひとりでもあった。國學院久我山高校に進んだのも、憧れのサッカー部に入るためだったが、学校に馴染めずに絵のほうに向かうようになる。啓示ともいえる ひかりの夢 をみても、そのころだった。

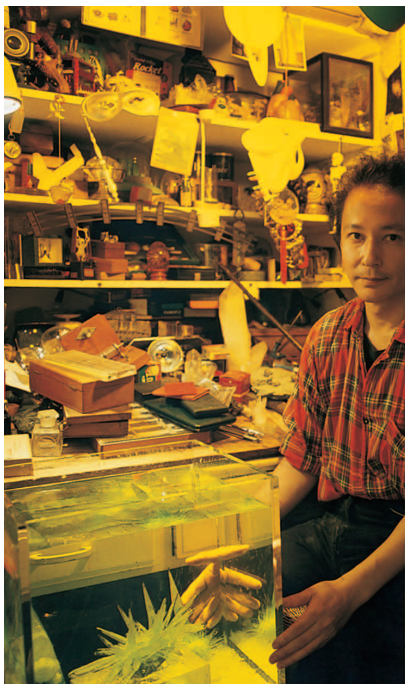
高一で自主退学し、調理師学校にも一時期行こうとするが、別な高校にはいり直し、芸大を受験。試験の最中にヒリヤードに夢中になって、三次で棄権する。仲間五人と本駒込に共同アトリエを借りたのは、一九七七年だった。以来、仲間たちが去った後も、植物園をはさんで反対側の現在の場所に引越すまで、そのアトリエで多くの作品が制作された。しかし美術家として生活できるまでには、まだ間があった。「アルバイトニユースを見て、高田馬場で朝

六時から、立ちんぼをして、現場で溶接をするとい日八千円だった。それから鉄鋼所で鋼材を溶断するようになって、「カラス」といってよく逆火で爆発する事故もあるんだけど、すぐに熟練して、二十一まではそんな調子で」。その後は、手作りの額縁、つくりの仕事をなどをして、創作額縁を三千本近く作った。一九八四年、初個展を開く。二十七歳だった。

《RAYRADIO》(一九八七)は、一見アンティークにも見えるがラベルも手作りですイッチなどの部品は、秋葉原のジャンク屋で入手した物を使えるようにした。ラジオの音声に同調して結晶が七色に発光する。

「鉱石ラジオに使われていたのは、方鉛鉱など金属系の石なんだけど、透明な結晶が発光するイメージがあって、それで樹脂で結晶のように作ってみたんだ」。この作品の《悲しきフチヨ》という副題には、鉱石ラジオの初期作を出品した個展を観て、賞賛してくれた辻澤龍彦への追悼がこめられている。

こばやし・けんじ 1957年東京芝田村町 現在の新橋 生まれ。77年より絵画、立体、インスタレーション、映像、音楽など広汎なジャンルの表現活動を展開。子どもたちからの天体や科学への好奇心をそのままにもちつづけ、東西の神話世界、太古の夢そして人類の未来へと時空を超えたイメージを巧みな工作で現出させる。近年は少年工作や科学模型などの製作、研究を通じて人間と天然現象との交通を試みる活動も行っている。84年の初個展「UTENA（ガレリア・キマイラ（東京）以降、ギャラリー樺（京橋）ほかで個展。2000年には三菱地所アルティム（福岡）で個展開催。またグループ展では91年MITO ANNUAL '91「美術とメッセージ・BEYOND THE MANIFESTO（水戸芸術館）94年「美術と博物展（福井県立美術館）2000年「水晶の塔をさがして（福岡市美術館）ほか。著書に作品集『AION』（用美社）『みづいろ』（松明堂極光書房）『ぼくらの鉱石ラジオ』（筑摩書房）など。『ぼくらの航空模型（仮題）』（筑摩書房）『地球に咲くものたち』（工作舎）『少年達の工作室』（河出書房新社）などが刊行予定。この秋は福井市美術館での個展のほか、ギャラリー樺（京橋、<http://kgs-tokyo.jp/tsubaki.html>）でも個展が開かれ、11月10日（29日）



アトリエの夜に水成培養される結晶が、少しずつ成長していく。宇宙を生みだした光のように、結晶もみずから意志でみずから創造する \*

『モツカド』（一九九〇）は、板に油彩で描いた絵に鉛の額縁を自作した作品。小林がライフワークのひとつとして文献を蒐集して探究をつづける、ウエツフミなど記紀以前の上代神話によるビジョンである。現世と転生する黄泉の国を結ぶ門（入口）が描かれている。それはすべての作品に通底する無意識界への闘でもあるのだろう。この絵を描いてから間もなく、湾岸戦争がはじまり、同じようなジグザグの遺跡が多く残るかつてのババロアの地が空爆されるようになってしまった……」。

この作品がつくられた九〇年代初めの三年間の精力的な発表の後、鉱石ラジオの本の執筆に専念し、一九九七年、ぼくらの鉱石ラジオ（筑摩書房）を出版。ロング・セラーとなる。福井市美術館での個展に出品される新作《ひかりさえ眠る夜に》（二〇〇三）では、Eトエレクトロルミネッセンスという特殊な発光体が、人工結晶や透明樹脂による作品とともに光と闇の空間を組成する。Eは、高価で輝度が弱いためLEDの

ように普及しなかったが、眼にやさしく有害な電磁波、紫外線が出ない利点もあるという。うずもれようとする技術と素材を活かして、十五歳の小林が体験したひかりの夢をテーマに会場が構成される。宇宙はかつて光そのものだった。光のなかに自身を知りたいという意識が生まれ、それが集まって光子化し素粒子が生まれ宇宙の物質化がはじまった。……光は本来、無限で自由だった。ぼくたちのなかに自由へのあこがれが消えないのは、光であったときの意識が残っているから」。

膨大な工具や標本や蔵書が息づくアトリエの奥深く水槽のなかで培養される結晶に見送られて、夜空の下にでると、六万年ぶりに最接近した火星が、南天に辰砂のような光を瞬いているのが観えた。地球に次いで生命が存在した可能性が高い惑星……。

（二〇〇三年八月二十八日、東京・小石川のアトリエにて取材）

たかみ・あきひこ「美術評論家」

たかみ・あきひこ「美術評論家」

たかみ・あきひこ「美術評論家」